

サフイベント

西台中 保健だより
令和7年12月2日
保健室



この日は、世界的レベルにおいて、エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別や偏見をなくそう！と、人々に働きかける日です。

エイズについて正しく理解し、誤解や偏見をなくすことが、エイズ予防につながります。

今年のテーマは

「U = U 検出されない = 性感染しない」 です。

エイズの治療は進歩しています。HIV陽性者は早期発見と治療により発症を防ぎ、HIVに感染していない人と同等の生活を送ることが可能になりました。

治療を継続し、血液中のウイルス量が、**検査で検出できない (Undetectable)** 程度に、最低6ヶ月以上継続して抑えられていれば、**性行為による感染もおこらない (Untransmittable)** ことが確認されています。

しかし、このような正しい情報が世間に十分に伝わっておらず、今でも「有効な治療法がなく死にいたる病気」と認識されてしまいがちです。

それがエイズを恐れる人たちを**検査や治療から遠ざけ、感染率の増加や差別・偏見を招く要因の一つ**になっています。

世界エイズデーは、HIVとエイズのことを考え、検査や治療・支援などの知識を身につける機会となります。そこから、エイズ患者への差別や偏見の解消につながっていきます。

知
っ
て
お
こ
う
エ
イ
ズ

Q
&
A

Q
&
A

知
っ
て
お
こ
う
エ
イ
ズ

Q エイズって何？

A HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することで、病原体から体を守る免疫細胞が減っていき、さまざまな病気を発症した状態です。

Q どうやって感染するの？

A 最も多いのは性行為です。精液や膣分泌液に含まれるHIVから感染します。コンドームを使わないと感染確率が上がるといわれています。



Q 「感染したかも…」と思ったら？

A 保健所で無料・匿名で検査を受けられます。心配なときは受けてみましょう。

Q もしも感染したら？

A 薬でHIVの増殖を抑えてエイズの発症を防げば、健康な人と変わらない生活ができます。検査で早期発見し、エイズ発症前に治療を受けることが大切です。



日本の変わらない現状

エイズ患者は2年連続で増加！

危険

厚生労働省の調査によると、2024年の新規HIV感染者数は667件でした。

新規HIV感染者は20歳代が多く、15～19歳の感染も報告されています。

エイズ患者数だけで見ると、日本は先進国内でも多い国となっています。

これらはエイズについての**知識のなさ・偏見・意識の低さがまねている可能性があります。**

HIV検査は、全国各地の保健所で、無料と匿名で受けることができます。

エイズ こんなことではうつりません



握手



便座



同じ物を食べる



タオルの共用

タオルの共用は、エイズの感染経路にはなりません
が、インフルエンザやコロナなどの感染症では感染経
路になる可能性があります。

タオルやハンカチなど、自分の肌に触れるものは、
自分で用意したものを使うようにしましょう。また、
清潔を意識することも大切です。

正しい知識をもつことは、自分を守る「^{ちえ}知恵の^{よろい}鎧」
となります。



お風呂



「レッドリボン」はエイズに関する理解と支援のシンボルです。
HIV 感染者やその家族に対し、偏見や差別をすて、エイズ予防に前向きな印です。
レッドリボンは「^{しんじ}思いやりの証し」とよばれます。
みなさんのところにも、レッドリボンを飾りましょう。



エイズについてもっと知りたい人は...

API-Net (エイズ予防情報ネット)

厚生労働省のホームページから入れます。

- ・世界エイズデーについて
- ・キャンペーンポスター
- ・世界エイズデーイベント「レッドリボンライブ 2025」
～HIVとエイズ 愛と絆の20年～

